

## 【2020(令和2)年度社会福祉法人さざんか会事業報告】(案)

### 【重点項目の総括】

#### ① “新型コロナウィルス感染症”への対策

新年度を迎える直前、降って湧いたような大騒動が勃発。北総育成園でクラスターが発生、利用者と職員及びご家族、近隣施設等関係者合計121名が感染と言う前代未聞の惨事が起きました。重症者は入院、それ以外の感染者は園内での療養となり、施設がまるで病院と化してしまいました。船橋市はじめ行政からの人的及び物的支援、法人挙げての応援体制の構築、何より残された少数北総職員の奮闘により、薄氷を踏みながらも困難を乗り越えることができました。しかし、利用者2名の尊い生命を喪ってしまったことも事実で、悲哀を禁じ得ません。

世界中に蔓延したこの病、未だ終息の気配は窺えませんがワクチンの投与も始まりました。従来の感染防止策を徹底しながら今しばらく不自由、窮屈な生活を余儀なくされます。自身の体調管理に不得手な面も多くみられる障がいのある方々、その分支援の側はより慎重に丁寧に努めて行かねばなりません。法人の運営する事業所も日常の活動について、利用者各位に少しでも満足して頂くために創意工夫が求められているようです。

#### ② 大規模修繕及び建替え工事について

“とらのこキッズ”と“けいよう”については、大規模修繕を。“カメリアハウス”については建替え工事を実施した。福祉医療機構からの借り入れ、その債務負担について船橋市からの公的な助成制度の動向も鑑みながら、これらの事業に取り組むこととなった次第。

折からの“新型コロナウィルス感染”的大流行、事業遂行に困難も生じたが設計管理及び施工事業者の尽力に頼り、何らの事故なく無事完了したことは特筆ものであった。これをもって、各事業所利用者及び職員各位の居住性や利便性は一段と向上することができた。自己負担分の返済が残るとは言え、法人としてハード面の整備が順調に進捗したと言えよう。

#### ③ 経済的運営基盤の確立

標記の課題について、コロナ禍を受けつくづく考えさせられた。昨年4月、緊急事態宣言下、保育所等幼児利用の通所事業が縮小や自主休園等の措置が取られた。この流れを受け、当法人の両キッズも約2週間自主休園とした。が、この間の報酬について何らの補償策もない。つまり、無収入となる訳である。代替サービスにより、何とか回復を試みるがこの間の減収はキッズの運営に暗い影を落とした。

何事かが起きたとき、ある程度の貯えが無いと事業の存続に即赤信号が灯ってしまう。全事業に亘り、教訓としなければならないようだ。

近年の決算からの収支状況、3年度報酬改定の実際、人材不足下での事業運営、サービスのあり方等々から事業の維持継続が危ぶまれる事態も発生している。精査しながら、今後の方向を見極める時期に来ているよう。

#### ④ 人材の確保と育成

法人事業の維持、展開に相応しいマンパワーの確保は当然のことです。高齢介護や障害者支援の現場では、変わらず人材不足が叫ばれ続けています。各事業に不可欠な、最低基準の職員配置が全うされなければなりませんが、願わくば高齢化や重度化等に対応するプラスの職員配置が求められます。

不足気味とはいえ毎年何とか人員を確保してきたが、常に薄氷を踏む思いもあり厳しい状況は年間を通したものとなっています。

応募の人員も、その多くを人材紹介や派遣等外部企業に頼らざるを得ないこともありますり、費やす費用も大きな負担となる。それでも、頼らざるを得ないのが現実です。

また、職員の資質向上に欠かせぬ研修事業であるが、この“コロナ禍”に外部研修の開催が控えられ、その機会が失われている。もちろん、感染の防止には最大の配慮を要するが、その実現方法に更なる工夫を施し、不足の分を更なる内部研修で補う必要が生じている。

#### ⑤ 防災対策の拡充

“新型コロナウィルス”感染防止への対応に振り回され、防災対応全般に目の行き届かなっかった感はのこるが、特にこのところ度々起きている地震には3.11を想起させるに充分であり、不斷の緊張も当然求められている。引き続き、“防災会議”を中心に火災や天災など全ての災害に備えて行きたい。

#### ⑥ 法人全体を俯瞰した今後の計画

重点項目②にあるように、大規模修繕及び建替え工事を施しハード面での整備については成功した。しかし、課題として残る利用者の高齢化や障がいの重度化にどのように対応していくか、未だ明確な方向性を見出すに至っていない。

「北総育成園」や「のまる」、入所支援施設ご利用の方、16か所のグループホーム利用の入居者各位、更に通所事業をご利用の多くの方々におかれても濃淡はあるものの、このままにこの生活を維持するに、そして将来に亘り納得いく日々を送るに取り組まねばならない事業のあることは当然である。日中サービス支援型グループホームをどのように捉え、どのような効果を期するかも課題の一つとなろう。

法人内、一事業所の問題と捉えるのではなく、全体を俯瞰して現行制度の中で厳しい職員配置や今春の改定報酬等を睨みながら、検討して行かねばならない。

法人事業計画の重点6項目について、各々の進捗状況を鑑みて及第点を啓上することができるか、甚だ心許ない思いもある。“新型コロナウィルス”的世界的流行から社会活動への様々な制限が強要され、発生する想定外の事態に戸惑いや

自粛が幅を効かず日常となってしまった。

この厄難は、社会的に弱い立場の層により多大な影響を及ぼす。それだけ、法人としての役割、機能などが問われているようである。困難な中にあるからこそ、法人事業所が力を合わせて利用者やご家族各位の思いに応えて行かなければならぬ。一歩でも計画された事業が進むよう、法人の真価が問われていることを忘れてはならない。

【2020(令和2)年度各種会議等の実施について】

NO	会議の名称	開催回数	開催日	備考
1	理事会	7	4/14 6/3 6/24 7/22 8/6 11/10 3/26	書面4回 オンライン2回 対面1回
2	評議員会	3	8/6 11/10 3/26	オンライン1回 対面1回 書面1回
3	法人全体施設長会議	3	7/17 11/5 3/17	オンライン3回
4	船橋圏内施設長会議	16	4/9 4/17 5/11 5/29 6/18 6/26 7/30 8/25 9/30 10/23 11/27 12/25 1/7 1/29 2/26 3/19	オンライン16回
5	新型コロナ対策会議	3	6/5 6/18 2/15	オンライン3回
6	サービス管理責任者会議 (S会)	7	9/1 10/6 11/10 12/1 1/5 2/2 3/2	オンライン7回
7	サービス向上委員会 (虐待防止委員会)	5	11/20 12/28 1/6 3/4	1/6は児童と成人 に分かれて開催 オンライン5回
8	法人全体事務職会議	1	12/23	オンライン1回
9	防災会議	1	2/15	オンライン1回

【法人企画研修会等の開催】

NO	研修の名称	開催回数	開催日・テーマ・講師等	備考
1	合同研修委員会	0		
2	新人職員研修	1	9/8 テーマ「期待される職員像」 講師 宮代理事長 参加者4名	オンライン
3	虐待防止研修	6	魔法のランプ ゆたか福祉苑 のまる カメリアハウス とらのこキッズ さ ざんかキッズ *各事業所で実施	別添資料参 照



令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 [ けいよう ]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面について

令和2年度当初は、契約者46名のスタートでしたが、施設入所された方や長期療養型の病院に入院された方、他法人の事業所に移られた方等で、3月末までに7名の方が契約解除となってしまいました。また、5月には法人内の他事業所からけいように移られた方が1名いらっしゃり、3月末契約者数としては、6名減の40名となりました。

契約者数も減ったことに加え、更なる高齢化・重度化で体調を崩される事も多くなり、利用率も低下し、昨年度に比べると減収となっています。特に、一回目の緊急事態宣言が発出された際には、できるだけ3密を回避するため4月21日から5月29日の期間に、ご家族にご協力いただきながら、サービス提供の縮小を行いました。毎日、通常の70%程度の人数に制限させていただいたことで、4月と5月はかなりの減収となってしまいました。

### ○研修および職員の取り組みについて

今年度は、新型コロナウイルスの影響で外部研修はオンラインで、千葉県が主催した虐待防止研修に1名が参加したのみで殆どが中止または、オンラインでの研修となってしまい、参加することができませんでした。

内部研修という形では行いませんでしたが、職員会議の日には、新型コロナウイルスに関して情報を共有し、感染予防対策の見直しを図るなど行いました。

### ○その他

#### <大規模改修工事について>

今年度、7月から仮設のプレハブの建設が始まり、8月上旬からは大規模改修工事が始まりました。令和3年の1月末の工事終了まで、工区を5区に分け仮設のプレハブに移動しながら順番に行ってきました。利用者さんも通常と異なる動きで色々と我慢を強い形となっていましたが、職員ができるだけ影響のないよう工夫して支援してくれたお陰で、大きな混乱もなく約半年間無事に過ごすことができました。また、コロナ禍での改修工事ということもあり、人の出入りが多く、緊張の中ではありましたが、設計事務所、建設会社、職員間とで連携して進めることができたお陰で、事故もなく予定通り終了することができました。

#### <新型コロナウイルスにおける影響>

今年度も、昨年度2月から引き続き新型コロナウイルスの影響で、あらゆる行事が中止となっていました。また、日々の活動においても屋内施設(ショッピングモール等)に出掛けることも中止させていただきました。車での外出もできる限り控え、外での活動は周辺散歩のみとしました。そのため、昨年12月から室内での日中活動を少しでも楽しく過ごしていただきたいという想いで、カラオケ機器をレンタルしました。当たり前ですが、感染予防対策はしっかり行いながら楽しく使用しています。また、カラオケだけではなく、コンテンツの中に体操やダンス等も入っているので、音楽に合わせて楽しく体を動かすことができます。利用者さんも「次は体操いつやるの?」等と楽しみにしてくれているようです。

## 1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)\*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員・ 保育士・ 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手等)	計
2年度当初	1	1	11		1		7	21
男子 常勤			3					3
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )	( 3 )	( 3 )
女子 常勤	1	1	3					5
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(2.5 )		(0.2 )	( )	( 1 )	(2.7 )
計 (常勤換算)	1 ( )	1 ( )	11 ( 8.5 )		1 (0.2 )	( )	( 4 )	(13.7)
2年度中増減								
男子 常勤			±0					
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( 1 )	( )	+1 ( 1 )	( )	( )	( 0.5 )	( 1.5 )
女子 常勤			-1					-1
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 0.4 )		( )	( )	( 0.4 )	+1
計	( )	( )	+1 (0.4)	+1 ( 1 )	( )	( )	(0.5)	3 (1.9)
3 年度当初	1	1	13	1	1		8	25
男子 常勤			3					3
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )	1 ( 1 )	( )	( )	(2.6 )	(2.6 )
女子 常勤	1	1	3					5
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(3.7 )		1 (0.2 )	( )	( 1 )	(4.9 )
計 (常勤換算)	1 ( )	1 ( )	13 (9.7)	1 ( 1 )	1 (0.2 )	( )	(3.6 )	25 (16.5)

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		40				40
2年度当初 契約者数		46				46
年度内新規 契約者数		1				1
年度内 解約者数		7				7
年度末 契約者数		40				40

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数		516				516
年間 開所日数		248				248
年間 延利用者数		8211				8211
定員に対する 利用率(%)		82.7%				82.7%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子		3	9	4	9	25
女子	1	1	5	4	6	17
計	1	4	14	8	15	42
構成比率(%)	2%	10%	33%	19%	36%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分（令和3年3月31日現在）

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子			1	5	9	10	25	5.1
女子			2	5	5	5	17	4.7
計			3	10	14	15	42	4.9
構成比率 (%)			7%	24%	33%	36%	100%	

(5)援護市町村区分（令和3年3月31日時点）

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	24			1	25
女子	17				17
計	41			1	42
構成比率 (%)	98%			2%	100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	15	1	4	3		1	1	25
女子利用者	9	6	2					17
計	24	7	6	3		1	1	42

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
新任研修	支援職		※対象者なし

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加 人数	備考
千葉県	千葉県虐待防止・権利擁護専門研修	3月	1人	

#### 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届け出	備考

令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 [ 北総育成園 ]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面に関して

(船橋市指定管理)北総育成園 02 年度事業総括 2021(03)5/17

02 年 3 月 28 日、全く予期しなかった新型コロナ感染症集団感染の渦中に。

**利用者 54 名職員 40 名が感染(北総関係者の感染は最大で 121 名)**

早速対策本部が立ち上がり、行政(国・県・船橋市)・医療関係・施設関係者の懸命のご尽力を頂く中で治療回復が図られました。施設を病院化(利用者の居住区をレッドゾーン・P ルームの対策本部をクリーンゾーン、そこを繋ぐイエローゾーン)で対応。幸いしたのは居室が個室化されていたことで陰性・陽性利用者の交わりを小さくすることができたこと。しかし、支援する職員の絶対数が足りず、このことでは船橋の法人施設職員 8 名が駆け付けてくれ、病棟の利用者支援に当たってくれました。この応援があったことで何とか大きな山を乗り越えることができました。本当に感謝の言葉しかありません。

この当園コロナ集団感染については、別途、法人広報誌おーくん 85 号(11 月発行)参照  
残念なことですが、コロナ禍の中で 2 名の利用者と 1 名の職員が亡くなりました。心よりご冥福をお祈りいたします。また、2 名の利用者が入院治療を継続しています。

6 月 4 日に千葉県から当園コロナ感染症の終息宣言がされ、世間的にはこの日より北総は“コロナ以前の普通の北総”の暮らしに戻りました。

しかし、このコロナ禍は北総利用者・職員にとって大きなダメージ。元の状態に戻るのはそう簡単なことではなく、02 年のその後は利用者・職員が元の元気を取り戻す為の養生期間としての性格を持ちました。

2 力月間、基本的に狭い個室に溜まる生活でしたので、歩行する力も含めて健康体力には程遠い状態。復帰した職員も心身の疲労を抱えています。少しずつ、一日一日、無理のない形の日課運営を心掛けました。そんな形で一年が経ちました。

そんなことで、02 年はコロナ禍の渦中で外泊、外出、各種行事、部会、委員会運営など広範囲の制限をせざるを得ませんでした。

### I コロナ禍の一年間の当園の主な動き

日 程		実行有無	日 程		実行有無
02.3/15(日)	保護者 02 年度事業 説明会	中止	6 月	ドクダミ採り 3 回	中止
3/15(日)→21(金)	3 月外泊	中止	7/7(火)	船橋市保護者会 (高根台公民館)	実施
3/28(土)	新型コロナ集団感染		7/8(水)	総合防災訓練	延期
4/29(水)	保護者懇談会	中止	8/11(火)→18(水)	お盆外泊	中止
4/29(水)→5/6(水)	外泊	中止	11/2(月)	保護者懇談会	中止
5/14(木)	村長・村議会選挙 投票日	中止	12/29(火)→1/6(水)	年末年始外泊	中止
5/30(土)	須賀山城址開山祭り	中止	03.3/20(土)	保護者 03 年度 事業説明会	中止

当園のコロナ禍は一先ず終息しました。が、この新型コロナは全国・全世界に拡散し、一年経ったこの4月、三度目の「緊急事態宣言」が出される状態。まだ、当分終息の見通し無し。利用者はもう昨年の正月外泊以後、一年半、自宅に帰れていません。が、その人なりにコロナの現実を理解してくれ、よく辛抱してくれています。

## II コロナ終息後、そのコロナの実情を知つて頂く機会が何回か催されました。

- 7/7(火) 船橋市高根台公民館でコロナ終息の経過を保護者にご報告
- 8/7(金) 集団感染報告会(東庄公民館)香取保健所主催
- 9/4(金) 集団感染報告会(旭中央病院)
- 10/7(水) 衛生講習(感染症専門看護師による)
- その他

## III 部会・委員会・新型コロナ禍での一年の動き

このコロナ感染症集団感染を引き受けながら、片方では北総の抱えている現実。利用者の高齢化・介護度の高まり・医療ケア等、いろんな課題に同時進行で対応。

また、園の仕組みを整えるための実務(部会・委員会)については、このコロナ終息後も利用者の健康管理に大半の時間が割かれ、部会・委員会は思うような活動は出来ませんでした。

部会委員会	新型コロナ禍の02年の活動実態
生 活	生活全般を見直し、改めて高齢化、重度化の支援の仕組みを整えた。
作 業	コロナ後の養生。午前中のみの7班作業で心身の健康体力を整えた。 改めて“やることのある暮らし”的大切さを実感。
余 暇	密を避ける意味もあって村議会は休止。後半、折り鶴作りが余暇時間に
給食厚生	集団感染対応中、3食の提供は困難を極めた。施設仲間が1.5ヶ月弁当で協力してくれた。02.5/11から自前の食事提供。03.4/1 納食外部委託開始。
医 务	毎日の感染予防対策の徹底。感染専門看護師の招聘研修 衛生管理マニュアルの制作。職員への周知徹底。
地 域	集団感染発生・経過・終息について電話・文書・訪問にて説明と謝罪。
防災安全	後半、3度の避難訓練実施。非常食・防災備品の備蓄
姉妹関係	長崎・島原コスモス会から島原みかん30箱、義援金40万円、その他 絵手紙等。ありがとうございました。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員・ 保育士・ 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手 等)	計
2年度当初								
男子 常勤			17					
男子 非常勤 (常勤換算)	1 ( 0.7 )	1 ( 0.8 )	4 ( 1.9 )		( )	( )	( )	( )
女子 常勤		1	11		1	5	3	
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	18 (10.5)		( )	( )	( )	( )
計 (常勤換算)	1 ( 0.7 )	2 ( 1.8 )	50 (40.4 )		1 ( 1 )	5 ( 5 )	3 ( 3 )	62 (51.9 )
2年度中増減								
男子 常勤		1 増	2 減 2 増					
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	1 減 (0.8 )	2 減 ( 0.9 )		( )	( )	( )	( )
女子 常勤			1 増			5 減		
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	7 減 ( 4.3 )		( )	( )	( )	( )
計	1 ( 0.7 )	2 ( 2 )	42 ( 36.2 )		1 ( 1 )	0 ( 0 )	3 ( 3 )	49 (42.9 )
3 年度当初								
男子 常勤		1	18					19
男子 非常勤 (常勤換算)	1 ( 0.7 )	( )	2 ( 1.1 )		( )	( )	( )	3 ( 1.8 )
女子 常勤		1	14		1	1	3	20
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	11 ( 6 )		( )	( )	( )	11 ( 6 )
計 (常勤換算)	1 ( 0.7 )	2 ( 2 )	45 ( 39.1 )		1 ( 1 )	1 ( 1 )	3 ( 3 )	53 ( 46.8 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員	75	75				
2年度当初 契約者数	70	73				
年度内新規 契約者数	3	1				
年度内 解約者数	4	5				
年度末 契約者数	69	69				

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数	812	831				1643
年間 開所日数	365	269				634
年間 延利用者数	24132	18317				42449
定員に対する 利用率(%)	88%	90%				89%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	0	2	3	13	25	43
女子	0	2	3	5	16	26
計	0	4	6	18	41	69
構成比率(%)	0%	6%	9%	26%	59%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子	0	0	0	1	13	29	43	5.6
女子	0	0	0	2	8	16	26	5.5
計	0	0	0	3	21	45	69	5.6
構成比率 (%)	0%	0%	0%	5%	30%	65%	100%	

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	31	4	7	1	43
女子	12	4	6	4	26
計	43	8	13	5	69
構成比率 (%)	62%	12%	19%	7%	100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	16	2	8	10	6	0	1	43
女子利用者	7	3	2	10	4	0	0	26
計	23	5	10	20	10	0	1	69

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
衛生講習会	職員	5月22日	香取保健所主催による新型コロナウイルス感染症予防講習会
衛生講習会	職員	6月18日	新型コロナウイルス感染症予防講習会
衛生講習会	職員	10月7日	新型コロナウイルス感染症予防講習会
衛生講習会	職員	12月16日	新型コロナウイルス感染症予防講習会 リモート
近隣施設看護師 情報交換会	副園長 看護師	2月26日	近隣3施設来園し情報交換会開催

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
香取保健所主催 (東庄町公民館)	集団感染報告会(障害者支援施設)	8月7日	6名	
旭中央病院主催	集団感染報告会(高齢者施設)	9月4日	5名	
千葉県知的障害者福祉協会	千葉県知的障害者福祉協会施設長研修	12月3日	3名	
千葉県障害福祉事業課	相談支援現任研修オンライン研修	12月10日	1名	
千葉県社会福祉センター	千葉県経営者会議研修	12月14日	1名	
大阪社会福祉協議会	大阪社会福祉協会オンライン研修	12月18日	1名	

#### 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届出	備考



令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 [ゆたか福祉苑]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面に関して

前年暮れに中国から広がり始めた新型コロナウイルスは、瞬く間に感染を拡大させ、激動と混乱の中で始まつた今年度は、まさにコロナ対応と感染対策に明け暮れた一年と言っても過言ではありません。苑内における感染予防や衛生管理については、徐々にレベルを高めながら取り組んで参りました。既に年度が替わる前からマスクや手袋は品薄状態で、なかなか手に入りにくく、しかも法外ともいえる高額なものもあり、確保に苦慮しました。職員には繰り返し使える布マスクを配布し、不織布マスクの在庫保持に協力を呼びかけ、国や市からの優先供給なども積極的に活用し、マスク、手袋、消毒液などについて、何とか在庫を切らすことなく乗り切りました。

日々の健康管理にも気を配って参りました。職員は出勤前の検温に始まり、少しでも体調の不調があれば出勤を控えるといったルールを徹底し、勤務中も利用者の方と同様に午後にも検温を行ってきました。私生活においても、不要不急の外出や感染リスクの高い場所への立ち入りを控えるよう呼びかけ、一人ひとりが勤務時間以外でも自身の仕事の役割と責任を意識した行動に努めてきました。

ご利用者様やご家族様にも、日々の検温や体調の見守りについて繰り返しお願いし、緊急事態宣言下においては、利用を自粛された方々に対する代替サービスを実施するなど、様々な形でご協力をいただきました。

### ○研修および職員の取り組みについて

最初の緊急事態宣言中にあたる5月の土曜登苑日(8日および15日)について、ご利用者の皆様には通所をお控えいただき、職員は在宅ワークによる職員研修日とさせていただきました。障害支援に関する資料を読み、各々がレポートを提出しました。

苑内研修としては、『接遇・マナー係』発信による、①ご利用者接遇、②職員間マナー、③ビジネスマナーの3つのテーマを軸に、職員会議日等を活用したグループワークの実施や、適宜アンケートによる意識調査および啓発活動、コロナ禍ならではの発想で、内線通話による電話応対の練習などを行いました。

### ○その他

産前休暇取得職員に対する職員の補充を職員体制の一部変更や負担軽減、環境衛生保持等に皆で協力し合い、コロナ禍にありながらも、体制強化に取り組みました。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		75				75
2年度当初 契約者数		90				90
年度内新規 契約者数		3				3
年度内 解約者数		6				6
年度末 契約者数		87				87

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数		1811				1811
年間 開所日数		248				248
年間 延利用者数		16891				16891
定員に対する 利用率(%)		90.8%				90.8%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	2	7	8	29	11	57
女子		5	6	10	9	30
計	2	12	14	39	20	87
構成比率(%)	2%	14%	16%	45%	23%	100%

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)※小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員・ 保育士・ 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手等)	計
2年度当初								
男子 常勤	1		8					9
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 3.5 )		( )	( )	( 0.7 )	( 4.2 )
女子 常勤		1	10		1		1	13
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 4.8 )		( )	( )	( 1 )	( 5.8 )
計 (常勤換算)	1 ( 1 )	1 ( 1 )	28 ( 26.3 )		1 ( 1 )	( )	( 2.7 )	( 32 )
2年度中増減								
男子 常勤			-1					-1
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	+1 ( 0.6 )	+2 ( 2.0 )	( )	( )	( +0.6 )	( +3.2 )
女子 常勤		-1	-4 産休2名含					-5
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	+1 ( 1.0 )	+1 ( 0.8 )	( )	( )	( -0.1 )	( +1.7 )
計	( )	-1 ( -1.0 )	-4 ( -3.6 )	+3 ( 3.0 )	( )	( )	( +0.5 )	( -1.1 )
3 年度当初								
男子 常勤	1	1	8					10
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	5 ( 4.8 )	1 ( 1.0 )	( )	( )	( 1.3 )	( 7.1 )
女子 常勤			7		1		1	9
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	7 ( 6.1 )	1 ( 1.0 )	( )	( )	( 0.9 )	( 8 )
計 (常勤換算)	1 ( 1 )	1 ( 1 )	27 ( 25.9 )	2 ( 2.0 )	1 ( 1 )	( )	( 3.2 )	( 34.1 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子				12	23	22	57	5.1
女子			1	3	8	18	30	5.4
計			1	15	31	40	87	5.2
構成比率 (%)			1%	17%	36%	46%	100%	

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	54		3		57
女子	28		2		30
計	82		5		87
構成比率 (%)	94%		6%		100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	40	3	10	3		1		57
女子利用者	17	1	8	3	1			30
計	57	4	18	6	1	1		87

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
在宅研修	支援職員	5/8、5/15	書籍から抜粋した資料(課題)を読み、各自レポートを提出
接遇研修	支援職員	5/30	利用者支援に関するアンケートを配布し、内容について活動班職員間で意見交換
法人新任職員研修	新入職員	9/8	理事長からの講演、倫理綱領の紹介と解説、新任職員間の交流
ビジネスマナー研修	支援職員	10/31	内線電話を職員同士交互に掛け合い、電話応対の実践練習
権利擁護・虐待防止研修	支援職員	1/30	千葉県社会福祉研修センターが発信する動画によるセミナーを受講

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県	強度行動障害者支援者養成研修	10/20、28	1名	

#### 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届出	備考
1	R2.6.23	散歩中に不穏になられた方が突如走り出し、職員の車を蹴り、お隣の高齢者施設の敷地内に靴を投げ入れてしまった。	朝から不穏の兆しが見え隠れしている日は、ご本人の要望とは言え、屋内の活動を促す。	無	
2	R2.9.17	散歩中に急なふらつきがあり、道路脇のフェンスに顔面を強打してしまい負傷。通院し、傷の手当てを受けた	基本的に一人で移動される方だが、咄嗟の対応が取れるよう、散歩時のメンバー構成に配慮する。	有	
3	R2.9.18	移動介助中、てんかん発作があり脱力されたが、職員が支えきれず、左側に反転しながら転倒。	常に発作のことを念頭に置き介助にあたる	無	

令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 [ のまる ]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面について

#### 1 施設入所支援

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の対策と利用者様の健康管理に試行錯誤しながら過ごす1年となりました。利用者様が楽しみにしている旅行や面会にも制限があり、見通しが立たない状況が続きました。利用者様の生活リズムの乱れや精神的なストレスによる不安を解消出来る様に、支援方法をその都度調整しながら対応致しました。当初は戸惑いをみせる方もいましたが、ユニット内での過ごし方を統一することで、生活リズムが崩れることなく落ち着いて過ごすことが出来ました。通所施設へ通所している利用者様と過ごす時間が増えたことで、新たに気付く一面が多くありました。ケガの予防や体重管理等を行うこともでき、健康管理に努めることができました。

また、職員の新たな気付きとして、イベント内容を従来の方法から変更し外食をテイクアウトに変更、公園への外出は人手の少ない場所や時間を見び散歩を行うことで体力の維持を図りました。移動途中でドライブスルーを利用し余暇時間も楽しめるように取り組みました。ご利用者様・ご家族様・船橋市・医療機関と連携し感染症対策に取り組むことで、困難な状況にあってもご利用者様が笑顔で生活が送れるような支援を大切にしたいと考えています。

\*非常事態宣言に伴う帰宅中止等により利用率が一時的に増加しております。

#### ストレスの緩和を図る余暇支援について

- ・人の接触を最小限に抑えるため、少人数での外出(公園・ドライブ・周辺散歩)を実施して、気分転換を図りました。
- ・車から降りてお店に入る事を避けるため、ドライブスルーを活用しました。
- ・外食をテイクアウトに変更し、のまる内で外食を楽しみました。
- ・シャボン玉、ブロック、塗り絵、映画鑑賞、体操など室内で楽しめる活動を行いました。

#### 2 生活介護事業

令和2年度は、非常事態宣言に伴い、移動の範囲や活動内容に制限がかかる状態でした。マスクを着用できない利用者様も多く、活動環境の調整を行いながら、利用者様の個別ニーズを達成出来るよう活動内容を随時調整し、利用者様が充実感の得られる活動内容及び生活介護の提供に取り組みました。また、在宅から生活介護サービスを利用しやすいように送迎サービスを調整しております。

非常事態宣言に伴う外出自粛等により利用率が一時的に増加しております。

### 感染予防に伴う活動として

- ・今年度は感染症の影響で販売の機会がなかつたため、次年度に向け様々な製品の試行錯誤を行いました。
- ・活動部屋が密にならないように、部屋のレイアウト変更を行いました。
- ・車移動、ドライブ時に密にならないように、人数制限と配置を見直しました。
- ・体力の維持と向上を図るため、外を散歩する際は、感染のリスクを考慮し、人通りの少ない公園を選んで散歩に参加して頂きました。

## 2 短期入所事業

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症予防に伴い、短期入所サービス受入れの際は、PCR検査を実施してからの受け入れとさせて頂きました。ご家族の体調不良など緊急の受け入れにも対応してきましたが、自粛期間中の行動や活動の制限により、利用率は前年度より低下しています。親の介護、冠婚葬祭、体験、など利用理由は多種多様ですが、今後も船橋市や医療機関と連携しながらサービスの提供に努めて参ります。

### ○研修および職員の取り組みについて

令和2年度は、様々な研修会の中止や延期が多く、研修参加が難しい状態がありました。秋以降には、感染症対策を行いながらの研修開催が始まりましたので、強度行動障害支援者養成研修やてんかん協会の研修など、開催状況を随時確認しながらの参加となりました。また、オンライン研修の機会が増えてきましたので、施設内の環境調整を行いオンライン研修に参加できる設備体制を整えました。

### ○その他

#### 新型コロナウイルス感染症予防の取り組み

- ・看護師と連携しバイタル測定を行い、体調変化の早期発見に努めました。
- ・日常の場面切り替え時に手洗い・手指消毒を行い感染症予防に努めました。
- ・汚物等の処理や掃除の際はガウンを着用し感染予防に努めました。
- ・職員は出勤時に消毒・検温を行い、健康状態を確認してから勤務に入りました。
- ・新型コロナウイルス感染症の理解と対応方法を職員間で周知しました。
- ・感染症発生時を想定した、施設内のゾーニングや発熱者の対応部屋を設置しました。
- ・密にならないユニット環境の整備、換気や手すり等の消毒を行い安心して過ごせる環境への配慮を行いました。
- ・支援にあたり、スタッフは飛沫感染防止のため、常時マスクの着用、食事・口腔ケア・直接支援時はフェイスシールド・衛生手袋の使用を行いました。
- ・緊急事態宣言発令期間中は保護者の協力のもと、帰宅の中止や通所施設への通所自粛を

行い、不特定多数の方との接触機会を減らしました。

### 1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)列数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 ・保育士 ・世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手等)	計
2年度当初	1	1	34		2	0	1	39
男子 常勤	1	1	15		0	0	0	17
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	3 ( 1.8 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	3 ( 1.8 )
女子 常勤	0	0	10		0	0	1	11
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	6 ( 3.0 )		2 ( 1.1 )	0 ( )	0 ( )	8 ( 4.1 )
計 (常勤換算)	1 ( 1.0 )	1 ( 1.0 )	34 ( 29.8 )		2 ( 1.1 )	0 ( )	1 ( 1.0 )	39 ( 33.9 )
2年度中増減	0	0	0		-1	0	0	-1
男子 常勤	1	1	16		0	0	0	18
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	3 ( 2.3 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	3 ( 2.3 )
女子 常勤	0	0	10		0	0	1	11
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	5 ( 2.0 )		1 ( 0.7 )	0 ( )	0 ( )	6 ( 2.7 )
計	1 ( 1.0 )	1 ( 1.0 )	34 ( 30.3 )		1 ( 0.7 )	0 ( )	1 ( 1.0 )	38 ( 34.0 )
3年度当初	1	1	36		1	0	1	40
男子 常勤	1	1	17		0	0	0	19
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	3 ( 2.3 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	3 ( 2.3 )
女子 常勤	0	0	11		0	0	1	12
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	5 ( 2.0 )		1 ( 0.7 )	0 ( )	0 ( )	6 ( 2.7 )
計 (常勤換算)	1 ( 0.5 )	1 ( 0.5 )	36 ( 32.3 )		1 ( 0.7 )	0 ( )	1 ( 1.0 )	40 ( 35.0 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
定 員	35	40	7			82
2年度当初 契約者数	35	40	9			84
年度内新規 契約者数	1	3	7			11
年度内 解約者数	1	4	0			5
年度末 契約者数	35	39	16			90

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	短期入所	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数	420	461	45			926
年間 開所日数	365	269	365			999
年間 延利用者数	12406	8763	377			21546
定員に対する 利用率(%)	97%	81%	15%			

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	0	3	9	8	7	27
女子	0	0	3	3	2	8
計	0	3	12	11	9	35
構成比率(%)	0	9%	34%	3%	26%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月 31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子	0	0	0	1	11	15	27	5.5
女子	0	0	0	0	3	5	8	5.6
計	0	0	0	1	14	20	35	5.5
構成比率 (%)	0	0	0	3%	40%	57%	100%	

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	22	0	4	1	27
女子	7	0	1	0	8
計	29	0	5	1	35
構成比率 (%)	83%	0	14%	3%	100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	12	3	7	2	2	0	1	27
女子利用者	4	1	1	2	0	0	0	8
計	16	4	8	4	2	0	1	35

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	支援職	令和2年 2月13日	新型コロナウイルス感染予防に伴い、オンライン研修となりました。 虐待に関する知識、利用者様との関わり方を学ぶ研修となります。

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
公益社団法人 日本てんかん協会	てんかん基礎知識	8/20.21	1	
千葉県	強度行動障害者支援者養成研修 (基礎研修)	9/15 9/30	1	
株式会社 平プロモート	腰痛予防対策講習会	11/25	1	
千葉県知的障害者福祉協会	施設長会議・研修会	12/3	1	
千葉県	強度行動障害者支援者養成研修 (実践研修)	12/24.25	1	
千葉県	相談支援従事者現任者研修	1/5.7.8	1	
しかくの学校	強度行動障害者支援者養成研修 (実践研修)	1/29.30	1	
千葉県運営適正化委員会	福祉サービス苦情解決研修 (基礎・応用編)	12/14.18 1/18、2/12	1	
しかくの学校	強度行動障害者支援者養成研修 (実践研修)	3/17.18	1	

5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届け出	備考
1	令和 2 年 6 月 2 日	浴室の入り口で足を滑らせた際、サッシのガードを掴み右手に裂傷のため、通院を行い 3 針縫合の処置をしました。	転倒防止のため、ゴムマットを使用、サッシのガードレールを突起の無い平面なタイプに変更する。	あり	
2	令和 2 年 7 月 27 日	午後の活動参加時に立ち上がりれない状態のため、通院を行い、左大腿骨頸部骨折の診断を受けました。骨折に起因する要因は不明、医師より骨がもろくなっている事、ちょっとしたことでききうると説明される。	左大腿骨置換手術とリハビリを行う。退院後は理学療法士からのアドバイスを頂き歩行状態に合わせた支援と環境の整備を行い、健康観察と再発防止に努める。	あり	
3	令和 2 年 9 月 23 日	朝食時左目付近に内出血を発見、通院を行い、異常なしの診断を受けました。前日高揚した際に戦隊物のフィギアを握り振り回し左目周辺に接触した事が要因となります。	高揚時、周辺にある物を振り回す行動が予測されるので、本人周辺の環境を調整しています。	あり	
4	令和 2 年 11 月 27 日	外出先にて散歩中、休憩するため縁石に座った所、滑り落ちて転倒される。右肩・右上腕部に腫れがあり通院を行い、骨には異常なしの診断を受けました。	ご本人の体力と体調を考慮して散歩の内容を調整、疲れている時は複数の職員で休憩する場所等を確認して対応する。	あり	

令和2年度  
社会福祉法人さざんか会  
事業報告(統一版)

事業所名 [ とらのこキッズ ]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面に関して～令和2年と新型コロナウイルス感染症感染拡大～

令和2年1月になり、それまで海外での新型コロナウイルス感染症感染拡大が、国内で始まりました。当園では令和2年3月から感染症感染防止・予防の観点から送迎バスの運行を中止、思い出会(卒園式)の延期と年度末にかけて慌ただしく動いておりました。

令和元年度の最終日である3月27日夕方に当法人で運営する障害者支援施設「北総育成園」での入所者及び関係者の状況の連絡を受けました。その大きなうねりの中、周辺での保育所、幼稚園等での感染症での対応を見据えながら職員と協議すべく、令和2年度は「さざんかキッズ」と共に臨時休園でスタートしました。

4月7日には首都圏・大阪・兵庫・福岡での緊急事態宣言が発出され、新年度を開始したのは4月13日(月)からで、継続児・新入園児を分けての自主登園での分散登園となりました。降園時間は「さざんかキッズ」と共に14時としました。

その後、GW期間を挟み緊急事態宣言は5月25日まで続き、この期間も給食提供の中止や分散登園の継続、結果として分散登園は9月末まで継続することになりました。この期間の保護者会はクラス単位、夏祭り、土曜参観、年2回の歯科検診は中止をせざるを得ませんでした。

通常の3クラス登園が始まると、前年度から予定していました、市の補助金制度を利用しての建物内部設備と空調設備交換、一部屋外を含めた「大規模改修工事」が始まりました。改修工事期間は令和3年2月中旬まで続きました。

(改修工事を行ったことが、随分前の出来事のように思い出されてしまいます。)

クリスマス会はクラス単位で行い、教室内の空調設備等の工事が始まるごとに他のクラスと仲良し保育をしたり、地域の幼稚園さんのご厚意で園庭をお借りしたり、近隣の公園での活動等、日々工夫しながら療育活動をしました。また給食室が工事の際には、委託業者にもご協力いただき、隣接する「けいよう」の調理室で調理、配食する等で対応させていただきました。

しかしながら年末年始から再び感染症感染拡大が広がり、1月12日から約2か月半にわたる3月21日まで首都圏の1都3県で2回目の緊急事態宣言が発令され、1月12日～3月中旬まで2クラスずつの分散登園を行いました。この期間中の集会行事や思い出会もクラス単位で行いました。

3月最終週は3クラス登園での年度終了を予定していましたが、3月19日～年度内最終週には関係者での感染症感染・疑いがあり、急遽3日休園をすることとなりました。この期間に職員と話し合い、人の動き(卒園・入園・退職・入職)がある難しい時期であることを確認し合い、自主的に保育者全員のPCRを行いました。結果は全員陰性でした。

※最後の2日間は全クラス登園で終わりました。

事業費収入については、4月の休園期間中の減収が大きく影響しました。また秋以降に2名の児童が幼稚園、保育園に転園され、時期的に募集が難しく、その後数ヶ月は定員を下回り、減収となってしまいました。

## ○研修および職員の取り組みについて

### 職員研修

感染症感染拡大の影響を受け、外部研修の受講は、殆ど中止（衛生推進者講習受講を除く。）としました。関係協会、機関でのリモートでの研修受講も思案しましたが、全体的に時間帯が合わないことが多く見送りました。しかしながら長引く感染症感染拡大での社会状況の中、障害特性理解への知識を得るための研修受講の必要と感じていますので、次年度は「さざんかキッズ」と共にその方法を検討していきたいと考えます。

### 法人内部研修

法人内事業所内新任者研修・2年目支援職研修会は中止、より良い支援委員会（虐待防止委員会）による「障害児者虐待・権利擁護研修」は同じ内容を別日となりましたが「さざんかキッズ」と行いました。

令和3年は保育者の退職に伴う新卒保育者が数名勤務していますので、事業所内部での職員研修を充実させていきたい。内容については外部講師により研修会もイメージできますが、私たちに課せられた日々の療育内容のミッション（基本指針）への理解、保育者の役割、子どもが持つ障害特性への理解、保育者間のコミュニケーションスキル向上、子どもの権利等について、園内でコーチングしていく状況を「さざんかキッズ」と共に模索したいと思います。

### 職員力 感謝の気持ち

感染症感染拡大の不安がある中、子ども達への日々の療育、園運営に真摯に向き合ってくれましたことに感謝しています。年度当初からの保育者の欠員、感染予防策としての特別休暇、年度途中での保育者退職等がありました。育児休暇からの復職、新人職員の中途採用という嬉しいこともあります。令和2年度は感染症対策と改修工事中の対応で本当にご苦労をおかけしました。改修工事は事故もケガもなく、アイデアを出しながら日々の療育活動と園運営を行うことができました。感謝申し上げます。

（施工管理・工事業者各位にも大変お世話になりました。）

また本部事務局を含め、それぞれの事業所の事務職員の皆さんにおいては通常の日常業務に加え、感染症感染対策に伴う補助金・給付金事業での行政への書類作成や申請業務等、減収を伴う厳しい補正予算業務等でご苦労をおかけしました。いずれも的確に対応していただきましたこと感謝申し上げます。

### 地域社会での感染症感染拡大を意識した運営

いずれにせよ、今しばらくは感染症感染拡大の厳しい社会状況は続くと思われます。事業所と通園児童保護者・家族との連携、通園児童が関係する他事業所、行政機関との情報共有や連携を図りながら、地域社会の感染拡大の状況を意識した園運営を行う必要があると思われます。

## 1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)紹介点1位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員・ 保育士・ 世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手 等)	計
2年度当初	1	1	13		1	業務委託	運転手業務委託	19
男子 常勤	1	0	0		0		0	1
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	0 ( )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	0 ( )
女子 常勤	0	1	9		0		1	11
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	4 ( 2.2 )		1 ( 0.3 )	2 ( 0.4 )	7 ( 2.9 )	
計 (常勤換算)	1 ( )	1 ( )	13 ( 2.2 )		1 ( 0.3 )	3 ( 0.4 )	19 ( 2.9 )	
2年度中増減								
男子 常勤	0	0	0		0		0	0
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	0 ( )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	0 ( )
女子 常勤	0	0	-2 育休1名		0		0	-2 育休1名
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	+1 ( 0.8 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	+1 ( 0.8 )
計	0 ( )	0 ( )	-1 ( 0.8 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	-1(育含) (+0.8)
3 年度当初								
男子 常勤	1	0	0		0		0	1
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	0 ( )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	0 ( )
女子 常勤	0	1	12 産育休2名		0		1	14 産育休2名
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	5 ( 2.9 )		1 ( 0.3 )	2 ( 0.4 )	8 ( 3.6 )	
計 (常勤換算)	1 ( )	1 ( )	17(産休2含) ( 2.9 )		1 ( 0.3 )	3 ( 0.4 )	21 (産休2含) ( 3.6 )	

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員			30			354
2年度当初 契約者数			29			29
年度内新規 契約者数			1			1
年度内 解約者数			2			2
年度末 契約者数			28			28

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数			350			350
年間 開所日数			246			246
年間 延利用者数			6,084			6,084
定員に対する 利用率(%)			81%			81%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	24					24
女子	4					4
計	28					28
構成比率 (%)	100%					100%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月 31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計
男子							該当なし
女子							該当なし
計							
構成比率(%)							100%

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男 子	24				24
女 子	4				4
計	28				28
構成比率 (%)	100%				100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	23	0	1					24
女子利用者	4	0	0					4
計	27	0	1					28

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
障害児者虐待 権利擁護研修	保育者	R3.3.17.(水) 16:50~	児童への懲罰・しつけについて考える。 アンガーマネジメント・アサーション

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加 人数	備考
千葉労働局	衛生推進者養成講習	R2.11.8	1名	

#### 5.事故の発生について \*報告事項なし。

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行動への漏洩	備考



令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 [さざんかキッズ]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面について

#### ・知的 6 クラスでの運営

年度当初保育士の数が揃わず、今年度は知的クラスを 6 クラスとして運営を始める。

また、3 クラスはクラス担任のうち 1 名が非常勤であった。定員が 80 名というところでは、運営的には非常に厳しいところであったが、8 月 9 月に新入園児 7 名を迎え 1 クラス 11 人体制で保育を行なった。

#### ・新型コロナウイルス感染予防対策

\*4 月 7 日の緊急事態宣言発令から、休園の措置を取り、新年度のスタートが 4 月 13 日となる。分散登園、バス運行、給食提供の中止など保護者の皆様のご協力を頂く1年。

通常バス運行、給食提供を 6 月から行い、全園児登園が 10 月からとなる。

\*その中で感染拡大防止としての、保育室や遊戯室、廊下などの消毒、換気の方法を徹底。

園児には部屋を移動するごとに手洗いを行ない、園児の活動では、密を避ける為に内容の見直し、衛生面では玩具等を共有しない為の環境作りを児童発達支援管理責任者と看護師を中心に行なった。

#### \*行事について

夏祭り、土曜参観など大勢が集まる行事は中止にする。すべての行事を中止にすることも考えていたが、園児たちに少しでも楽しい体験ができるようにと保護者参加なしでの「秋祭り」を秋祭りウィークとして 1 週間 4 つの保育室を使ってコーナー遊びとして行なう。

また、保護者参加の行事がどのようにすればできるかを考え、保護者 1 名限定で 1 クラス 11 名ずつのクリスマス会を時間も 45 分以内という事で行なった。また、思い出会(卒園式)は保護者 2 名限定で 1 クラスずつ 7 回行なった。

#### ・代替えサービスの利用

厚生労働省からの代替えサービスを新型コロナウイルス感染予防対策として休園している児に対しての利用を始める。ご家庭にお電話して、健康状態、自宅での様子の確認、問題は生じていないか、それに対する助言を中心にご連絡させていただく。この制度より、出席率が高くなり収入が得ることができたと共に、担任がお電話することで保護者の方々とのコミュニケーションが図れたことがメリットであった。

### ○研修および職員の取り組みについて

#### ・分散登園中のテレワークについて

分散登園の期間中、お休みクラスの職員は、自宅待機テレワークを行なう。その際、各自で課題を見つけ、それに取り組んで毎日研修報告を提出することとした。自ら課題を抽出する職員もいれば、提示した書籍の中から選んでその感想を報告する職員もいた。

皆でそれを検証する場は持てなかつたが、各自の保育をゆっくり振り返る時間となったとの感想が出ていた。

○その他

・新入園児見学会

新型コロナウイルス感染予防対策のひとつとして、令和3年度新入園児に対する入園説明会のやり方を大きく変更する。例年は6月から園児のいる時間に見学、館内案内、説明会を行なってきていたが、9月10月で保護者1名の参加のみでパワーポイントなど映像を使用した説明会のみとする。

知的5回 肢体2回 計7回の説明会を行なった。

2. 職員体制と人材確保(常勤換算数)※小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員・ 保育士 ・世話人等	派遣職員	看護師 専門職	調理員・ 栄養士	その他 (運転手等)	計
2年度当初	1	4	28 産休4名		4	1		38
男子 常勤					1			1
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )		
女子 常勤	1	4	17 産休4名		1	1		24 産休4名
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 7.3 )		2 ( 0.8 )	( )	( )	13 ( 8.1 )
計 (常勤換算)	1 ( )	4 ( )	28 (24.3)		4 ( 0.8 )	1 ( )		38 (25.1)
2年度中増減								
男子 常勤								
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )		
女子 常勤			-1					-1
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
計	( )	( )	-1 (-1.0)		( )	( )		-1 (-1.0)
3 年度当初								
男子 常勤					1			1
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )		
女子 常勤	1	4	21 産休2名		1	1		28 産休2名
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 4.5 )		2 ( 0.9 )	( )	( )	10 ( 5.3 )
計 (常勤換算)	1 ( )	4 ( )	29 (25.5)		4 ( 2.9 )	1 ( )		42 (34.3 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数を( )内に別記する。

### 3. 施設等利用者の状況

#### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員			80			80
2年度当初 契約者数			67			67
年度内新規 契約者数			7			7
年度内 解約者数			1			1
年度末 契約者数			73			73

#### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数			844			844
年間 開所日数			252			252
年間 延利用者数			14.400			14400
定員に対する 利用率(%)			71.4%			71.4%

#### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	60					60
女子	13					13
計	73					73
構成比率(%)	100%					

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月 31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計
男子							該当なし
女子							該当なし
計							
構成比率(%)							

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男 子	60				60
女 子	13				13
計	73				73
構成比率 (%)	100%				100%

4. 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	58	1	1					60
女子利用者	13							13
計	71	1	1					73

## 5. 職員研修について

### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
第1回法人新人研修	新人職員	R29.8	
サービス向上委員会 子どもの権利と 虐待防止について	支援職員	R3.3.25	児童への懲罰・しつけについて考える。 アンガーマネジメント・アサーション

### イ、 外部団体等主催研修への参加

研修内容	研修会名	実施日	参加人数	備考
衛生推進者講習	千葉県労働基準協会連合会主催 衛生推進者養成講習	11/8	1名	

## 6. 事故の発生について \*報告事項

2年度は行政に報告する事故は発生しませんでした。

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届け出	備考



令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 〔笹川なずな工房〕

## 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### 1. 新型コロナ対応

昨年3月28日の北総育成園での新型コロナの発生から、即刻感染対策強化をしてきました。まずは5月6日までの臨時休業をしました。その後の施設再開の折も、密を避けるため利用者の1日おき利用の実施や銚子と佐原方面からの電車利用者に対する送迎の実施。送迎者もビニールで仕切りを作り他者との接触を避けました。館内の徹底消毒等できることは全て行うと決め実施してきました。現在も分散作業、分散昼食、消毒は継続しています。また研修や各団体からの新型コロナウイルスの情報、感染対策等は職員間で情報を共有しています。

### 2. 作業について〈主として就労継続支援B型〉

年度当初の新型コロナ禍から令和2年度は作業活動を行うのはほぼ不可能との判断からスタートしました。6週間の施設閉鎖後、施設を再開してからもまずは体力作りとして、施設周りの草取りやウォーキングを中心に活動をしてきました。北総育成園からのパンの注文と自分たちで食べる昼食用のパン作りを細々と行う状態でした。しかし、6月からは地域の常設店からの注文が入り、9月からは近隣の施設、役場や特別支援学校からの注文が入り徐々にではありますが、生産量は増えてきました。2月には東庄町から園児や児童・生徒に地元産の特別給食を実施する際、デザートとして当施設のマフィンが選ばれて計2,200個を納品しました。この様子は千葉テレビでも放送されたのでご覧になった方もいらっしゃると思います。今年度は、各地のふるさと祭り等のイベントは全て中止となり、就労継続支援B型の施設は全国的に悲鳴を上げています。当施設も今年度は対面販売を行わないことにしました。このため売上と工賃の大幅減少は仕がないことですが、決算をしたところ、就労継続B型利用者には月額平均11,000円ほどの工賃になる見込みです。このような非常事態下を考えると、けして少ない数字ではないと思います。特に近隣住民や関係団体から「早く生産再開をして売りに来てほしい」とたくさんお言葉をいただいている。これの今までの活動を評価して頂けたと理解しています。今後の地道な作業をしていきます。

### 3. 財政状況について

当施設の財政状況は大変厳しいものがあります。令和2年度においては、ほぼ収支差がない予算を組みました。しかし、このコロナ禍で4月から約6週間の施設閉鎖と再開後2カ月にわたり利用者の隔日利用制限を行ったために当初の計画は灰燼に帰し、予算的にも毎日が手探りの状態で運営をしてきましたが、令和2年度の最終決算では、1,000万円の積立金を計上することができました。

今後も利用者増による収入の増加や経費等の削減を図る必要があります。

### 4. 職員のスキルアップ

福祉は人（職員）の力に負うものがあります。職員の資格の取得を奨励してきました。

支援員は大半が介護福祉士の資格を受験して取りました。大切なことは自己向上を目指すことです。資格を取るためににはそれなりの勉強や努力をしなければ取れません。それだけ仕事を真剣に打ち込む気持ちがある職員であるとの証です。

## 5. 設備について（生活介護事業の充実）

令和1年度から高齢化重度化に伴い生活介護事業（生活充実班）を開設してきました。しかし、当施設は基本的に生産活動に重点を置き、「働くこと、生きること」実践してきたので、生活充実班の位置付けが曖昧でしたが、職員の創意工夫により、施設周りの環境を整え、近隣の方からも「きれいになった」とお誉めの言葉もいただけるようになりました。令和2年度事業として施設前の荒れ地になっていた休耕地（約400坪）を無償でお借りしてブルーベリー畑を作付けする予定でしたが、コロナ禍により土壤改良工事が遅れた為、令和3年度事業として、ブルーベリーの植栽及び花壇の造成を行っていきます。これにより、生活充実班の日中活動もメリハリのある活動にできます。

車両の老朽化により、送迎に利用している「旧ヴォクシー」は廃車にし、送迎用15人乗りマイクロバスは、リースでの新車に切り替えました。

## 6. 地域との関係について

地元東庄町の1番の特産物は「苺」です。その「苺」を使った、当施設のイチゴジャムセットが東庄町のふるさと納税の返礼品として選ばれています。

まだ注文の数は少ないですが、地元の一員として地域とともに生きる姿勢を大切にしていきます。

## 7. 情報公開

本年度も毎月1回以上施設発の「お知らせ」を発行してきました。特に新型コロナウイルスの対応については事細かく情報を提供してきました。当施設は利用者も文字が読める人も多いので、わかりやすい言葉で注意を喚起してきました。

予定していたイベント販売が無くなったため、毎月早めに情報を出して混乱のないようにしてきました。

## 2. 職員体制と人材確保(常勤換算数)※小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員・ 目標工賃指 導等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (事務)	計
2年度当初								
男子 常勤	1	1	2					
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 0.5 )		( )	( )	( )	(0.5)
女子 常勤			4				1	5
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 1.1 )		(0.1)	( 0.5 )	( )	( 1.7 )
計 (常勤換算)	1 ( 0.5 )	1 ( 0.5 )	10 ( 7.1 )		1 (0.1)	1 ( 0.5 )	1 ( 1.0 )	14 (9.7)
2年度中増減								
男子 常勤								
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )	( )	( )
女子 常勤								
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )	( )	( )
計	( )	( )	( )		( )	( )	( )	( )
3年度当初								
男子 常勤			3					3
男子 非常勤 (常勤換算)	1 (0.8 )	( )	( 0.5 )		( )	( )	( )	( 1.3 )
女子 常勤		1	2				1	
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 1.3 )		( 0.2 )	( 0.2 )	( )	( 1.7 )
計 (常勤換算)	1 ( 0.8 )	1 ( 1.0 )	9 ( 6.8 )		1 ( 0.2 )	1 ( 0.2 )	( )	13 (9.0 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 8. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		15		20		30
2年度当初 契約者数		12		21		31
年度内新規 契約者数		0		0		
年度内 解約者数		0		0		
年度末 契約者数		12		21		31

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数		144		252		396
年間 開所日数		258		258		258
年間 延利用者数		2450		5100		7550
定員に対する 利用率(%)		63.3%		98.8%		81%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	1	7	5	1	4	18
女子	0	5	6	2		13
計	1	12	11	3	4	31
構成比率(%)	3.2%	38.7%	35.5%	9.6%	12.9%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子	7	1	3	4	3	0	18	2.7
女子	2	4	2	3	2	0	13	2.9
計	9	5	5	7	5	0	31	2.8
構成比率 (%)	29. 0%	16. 1%	16. 1%	22. 6%	16. 1%	0	100%	

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	0	16	1	1	18
女子	0	13	0	0	13
計	0	29	1	1	31
構成比率 (%)	0	93.6%	3.2%	3.2%	100%

### 3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	9	0	6	2	0	0	1	18
女子利用者	10	1	1	0	1	0		13
計	19	1	7	2	1	0	1	31

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
法人内部監査	施設長	7/17	
工賃査定会議	支援職員	7/15 、 9/9 、 10/20 、 11/17 、 12/12 、 2/10 、 3/13	毎月の作業の様子 モニタリング会議

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
GH 設置者連絡協議会	GH 設置者連絡協議会	7/30	1	
旭中央病院	感染対策研修	8/8 9/4	3 2	
千葉県	DWAT 研修	10/14	1	
香取地区生活支援	地域生活拠点会議	3/19	1	

#### 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届出	備考
1	5月7日	男子利用者が午後転倒し失神をした。直ちに旭中央病院に通院する。検査結果は異状なし	今後も重軽度に係わらず、迅速に対応し、必要に応じ通院を行う	なし	
2	1月28日	女子利用者が前日に自転車で帰宅の際、ふらついて壁にぶつかり左手小指を捻挫したと訴えがあり、シップを張る(本人は大丈夫と話し、家庭ではそのまま)。2月22日整形外科に通院したところ、骨折をしていた。と判明。	少しでも異状があれば、軽微な事象であっても通院をするよう、促す。	なし	



令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名〔 カメリアハウス 〕

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面に関して

#### ・カメリアハウス本館の建て替え

令和2年度はカメリアハウス本館の建て替えという一大事業がありました。令和元年度より設計会社と綿密な打ち合わせを続け、現場職員にも可能な限り参加してもらいより使い勝手の良い建物を設計してもらえるよう意見を集めてきました。その中で各職員が積極的に意見を述べ、各自のポジションならではの想いを集約できたことは建て替え後の現場運営においても大いに役立つこととなりました。

大きな懸念であった工事中の活動場所や日中の流れに関してはコロナ禍の中さまざまな困難がありましたが、職員各自が自覚を持ち的確に動くことで大きな混乱が生じなかつたことは今回の最大の副産物「職員各自意識の更なる開花」であったかと思われます。それは建て替え後の現在も如実にうかがえており頗もしい限りです。利用者に関しても慣れない環境、使い勝手の悪いスペースの中それぞれが自らの想いに折り合いをつけてくれたおかげもあり、利用者同士の大きな混乱なども避けられることができました。

周囲の多大なるご協力のおかげで工程は予定通りに進行し、令和2年年末には本館が完成し年明けから徐々に活動場所を移行していくことができました。予想以上に使い勝手の良い空間となっており使い切れていないことが現状かと思われますがそこは今後の課題として検討していこうかと考えています。

新しい場所が苦手な特性のある方もみなさんスムーズに受け入れてくださいり、室内作業がメインである就労継続支援B型事業利用の皆さんも快適に作業され表情からは嬉しさが溢れているような印象も受けます。

#### ・収支面に関して

福祉医療機構からの借入と自己資金で行った今回の建替えですが、20年という長期の返済については、現状を維持できるようであれば支払いに問題はないと思われます。しかし3年に1度の報酬改定により一喜一憂しなければなりません。特に就労系の報酬単価は不安定で、令和3年度の報酬改定においても生活介護は40名定員の単価が下がったため厳しい改定となりました。幸い利用者の減少が無かったため、経営の安定を保ててはいますが、来年度以降の利用者の増減や改定による増減収がこれからも大きく影響することとなるでしょう。

また、加算に関しては職員の資格取得等が必須であります。

「現場職員は利用者に向かい合っているだけでいい」という考え方を変えていくことで様々なメリットが生まれ、「自分の業務が事業所の運営に深くかかわっている」という思いが育まれていくのではないかと実感しています。

#### ・職員数の確保

ここ数年はあまり余裕のない職員数で事業を展開しており現場職員に過度な負担をかけてしまっていると思われる場面もありました。更に加算を取ることによって必要職員配置人員もほぼ余裕がない状況にあります。次年度以降予想される利用者増員にあたっても職員数の確保が必須と思われます。

#### ○研修および職員の取り組みについて

##### ・職員の意識維持

船橋西部地区は生活介護事業所が少なく地域的に需要があり、今後も新規利用申し込みが増えしていくかと思われます。定員や利用者の増加による規模の拡大に伴い、個々のニーズが見えなくなることに注意しながら、あくまで支援の質が評価されるような事業所であることを求め続けたい。

そのためにも支援職員のモチベーション維持は不可欠であり、職員同士が良い意味でお互いを刺激していけるような環境であるよう尽力します。

##### ・研修

昨年度はコロナ禍のため、必要である研修以外は参加することができませんでした。しかし各職員においては支援スタッフ部会、権利擁護委員会、船橋地域福祉連絡会等に参加し情報収集に努めています。

これからもオンライン研修等を活用していきたいと思います。

#### ○その他

##### ・新型コロナウイルス対応

令和2年度は新型コロナウイルスに振り回された年度となりました。建替え工事のため移動した活動場所はスペースが少なく、結果的に以前より密な状況が発生してしまいました。

職員各位、衛生面への意識を高く持ち、利用者への対応等を含め感染予防に尽力してくれました。今後も衛生面での対応を考慮し、徹底していきます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)※小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員・保育士・世話人等	派遣職員	看護師	調理員・栄養士	その他(運転手等)	計
2年度当初	1	兼務	12		1		2	16
男子 常勤	1	兼務	3					4
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(0.5 )		( )	( )	(0.4)	(0.9 )
女子 常勤			3					3
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(3.0)		( 0.1 )	( )	( 1 )	(4.1)
計 (常勤換算)	1 ( 1 )	兼務 ( )	12 (9.5)		1 ( 0.1 )	( )	(1.4)	(12.0 )
2年度中増減								
男子 常勤								
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )	( )	( )
女子 常勤								
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )	( )	( )
計	( )	( )	( )		( )	( )	( )	( )
3 年度当初	1	兼務	12		1		2	16
男子 常勤	1	兼務	3					4
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(0.5 )		( )	( )	(0.4)	(0.9 )
女子 常勤			3					3
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(2.9 )		( 0.2 )	( )	( 1 )	( 4.1 )
計 (常勤換算)	1 ( 1 )	兼務 ( )	12 (9.4 )		1 (0.2)	( )	(1.4)	(12.0 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員		28		12		40
2年度当初 契約者数		33		16		49
年度内新規 契約者数		1		2		3
年度内 解約者数		0		2		2
年度末 契約者数		34		16		50

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数		399		176		575
年間 開所日数		248		248		248
年間 延利用者数		7,222		2,780		10,002
定員に対する 利用率(%)		88%		70%		79%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子		18	2	9	7	36
女子	1	3	1	5	4	14
計	1	21	3	14	11	50
構成比率(%)	2%	42%	6%	28%	22%	100%

(3) 利用者障害程度(支援)区分（令和3年3月31日現在）

生活介護

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子			1	8	12	4	25	4.7
女子			2	3	2	2	9	4.4
計			3	11	14	6	34	4.2
構成比率 (%)			9%	32%	41%	18%	100%	/

就労継続支援 B型

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子	1	2	4	4			11	2.4
女子	1	3	1				5	2.0
計	2	5	5	4			16	2.5
構成比率 (%)	13%	31%	31%	25%			100%	/

(5) 援護市町村区分（令和3年3月31日時点）

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	33		3		36
女子	12		2		14
計	45		5		50
構成比率 (%)	90%		10%		100%

### 3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の親族	その他	身寄りなし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	28	1	7					36
女子利用者	8		5	1				14
計	36	1	12	1				50

### 4. 職員研修について

#### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
サービス向上 委員会研修	常勤職員	3年3月16日	テーマを挙げてのディスカッション

#### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県労働基準協会連合会	衛生推進者養成講習	2年7月22日	1名	
千葉県障害者就労事業振興センター	基礎会計研修	2年9月16日	1名	
千葉県障害者就労事業振興センター	衛生管理集中研修	2年9月3日、4日	1名	
千葉県障害者就労事業振興センター	衛生管理集中研修	2年11月12日	1名	

5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行動への届出	備考
1	2年5月20日	散歩中の転倒、右膝擦り傷	加齢とともに危険性が増していることを周知	無	
2	2年8月17日	散歩後頭部の出血を発見	外出等の際は本人の状態を把握し、対応する	有	帰宅後通院
3	2年8月20日	送迎車降車中背中から転倒し背中、足の甲、左大腿部にあざ	降車時、利用者の行動に注視し、行動把握に努める	無	
4	2年9月1日	送迎時GH前で利用者を待っている際に他利用者が降車し GH前で排尿をしてしまう	出発前のトイレを依頼するとともに送迎体制の変更を検討	無	
5	2年9月2日	ジュースを飲まれていた利用者に対して、自分も欲しがり肩につかみかかる	ジュース等嗜好品を提供する際は時間帯や環境に配慮する	無	
6	2年9月28日	登所の際玄関前で段差につまずき右膝から転倒、外傷はなし	朝ということもあり足が上がっていないことを今後は注意	無	
7	2年10月13日	階段から後方に転げ落ち左肩、左ひざ打撲及び擦り傷、右膝打撲 通院しレントゲン、CTスキャンを撮影し異常がないことを確認	階段昇降の際には職員介助2名で対応	有	
8	2年12月1日	新型コロナウイルス家庭内感染	保健所の指示に応じた対応	有	長期欠席者が自宅にて感染

令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 〔魔法のランプ（居宅介護部門）〕

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○事業活動について

令和2年4月7日より新型コロナウイルス感染症拡大防止による第1回目の緊急事態宣言が発令された為、余暇支援を含むサービスについては、全て中止、居宅介護事業と重度訪問介護事業と室内におけるサービスに限定して実施しておりました。

緊急事態宣言が明けた後は、サービスを千葉県内のみに徹して外出支援を実施しています。

第2回緊急事態宣言時は、予防対策をとり、実施しましたが、キャンセルや時間短縮をされる方が多く見られました。

### ○研修および職員の取り組みについて

#### (1) ヘルパー育成

登録ヘルパーの育成については、年4回の研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、研修を中止しました。

#### (2) スタッフの研修

今年度は、コロナウイルス感染症拡大防止の観点から外部研修等にも参加することはありませんでしたが、強度行動障害支援者研修に参加して、基礎と実技研修を終えています。また、事業所内において虐待防止研修時に1回だけオンラインでの研修会を実施しています。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)小数点2位四捨五入

	管理者	サビ提等	支援員・世話人・保育士等	看護師	調理員・栄養士事務員	その他(登録ヘルパー等)	計
2年度当初	1	2	3		1	10	
男子 常勤	1 <small>サビ提、支援員兼務</small>	1 <small>支援員兼務</small>	2				
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	0 ( )	( )	( )	2 ( 0.3 )	( )
女子 常勤			1				
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )	( )	1 ( 0.4 )	8 ( 1.1 )	( )
計 (常勤換算)	1 ( )	2 ( )	3 ( )	( )	1 ( 0.4 )	10 ( 1.4 )	( )
2年度中増減						-1	
男子 常勤							
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
女子 常勤							
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
計	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
3年度当初	1	2	3		1	9	
男子 常勤	1 <small>サビ提、支援員兼務</small>	1 <small>支援員兼務</small>	2		1		
男子 非常勤 (常勤換算)				( )	( )	1 ( 0.2 )	( )
女子 常勤			1 ※ ( 1.1 )				
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )	( )	1 ( 0.4 )	8 ( 1.1 )	( )
計 (常勤換算)	1 ( 1.0 )	2 ( 2.0 )	3 ※ ( 3.1 )	( )	1 ( 0.4 )	9 ( 1.3 )	( )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

※ のまのまホームズ女性常勤スタッフ1名、日曜日のみ当事業所勤務としている為。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	障害福祉サービス				地域生活支援事業	合計
	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護		
定 員	—	—	—	—	—	—
2年度当初 契約者数	48	8	26	4	157	243
年度内新規 契約者数	2	2			5	9
年度内 解約者数		1			11	12
年度末 契約者数	50	9	26	4	151	240

※ 障害福祉サービス事業と地域生活支援事業の契約重複者含む

### (2) 利用率

利用事業名	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	移動支援	合計
年間 利用 者数	109	13	145	17	461	746
年間 開 所日数	365	365	365	365	365	365
年間 延 利用者数	176	72	370	28	1,069	1,715
利用率(%)	61%	18%	39%	60%	43%	43%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月 31 日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	4	36	12	42	20	114
女子	1	5	6	16	9	37
計	5	41	18	58	29	151
構成比率 (%)	3%	27%	12%	38%	19%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分（令和3年3月31日現在）

● 対象事業名(居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護) ※移動支援を除く

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子	0	0	3	9	17	19	48	5.0
女子	0	1	1	2	4	7	15	5.2
計	0	1	4	11	21	26	63	5.0
構成比率 (%)	0%	1.6%	6.4%	17.5%	33.3%	41.2%	100%	

(5)援護市町村区分（令和3年3月31日時点）

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	113		1		114
女子	36		1		37
計	149		2		151
構成比率 (%)	99%		1%		100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	76	4	24	5	1		4	114
女子利用者	18	2	16	1				37
計	94	6	40	6	1		4	151

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
虐待防止研修	直接処遇スタッフ	令和3年1月30日(土)	オンデマンド映像(千葉県社会福祉協議会 研修動画)による虐待防止講義の拝聴・メンタルヘルスチェックについて

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
特定非営利活動法人サポート千葉	千葉県強度行動障害(基礎研修)	令和2年9月15日・10月8日	1名	
特定非営利活動法人サポート千葉	千葉県強度行動障害(実践研修)	令和2年3月15日・3月16日	1名	

#### 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届出	備考
1	2020/8/9	段差での転倒・ケガ	高齢で疲れやすいため、歩き距離を減らす。	無し	
2	2021/2/16	利用者所有物の紛失	その場を離れる際に必ず確認を行う事	無し	
4	2021/3/20	転倒によるケガ	転倒しないだろうという思い込みによるもの・足場が悪い場所では要注意	無し	

令和 2 年度  
社会福祉法人さざんか会  
事業報告(統一版)

事業所名 [DD ホームズ ]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面について

- ・令和2年度は、33名でスタートしたDDホームズですが、体験入居を経て、11月より34名となりました。
- ・コロナ禍により、4月、5月はホームの利用を控える利用者がいましたが、6月からは徐々に元に戻ってきました。  
衛生面の整備(パーテイションの設置やフェイスシールドの配布、手指消毒、マスクの配布など)を行い、利用者への健康管理、居室の衛生管理に努めました。

### ○研修および職員の取り組みについて

- ・令和2年度は新型コロナウイルスの関係で研修の中止を余儀なくされてきました。今後は、動画配信やオンライン研修等の活用など、状況下に見合った方法を模索し、支援の向上を目指します。

### ○その他

- ・令和3年5月現在、2名の空室があります。ホームごとの特色や障害の程度も加味しつつ、生活介護事業や相談支援員とも連携していきます。
- ・保護者の高齢化により休日の利用希望が増す傾向にあります。  
そのためには、職員の増員はもちろんのこと、利用者の特性や区分を考慮したホーム再編など検討していきます。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)\*小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 ・保育士 ・世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手 等)	計
2年度当初	1	2	22		0	0	0	25
男子 常勤	1	1	5		0	0	0	7
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	7 ( 4.4 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	7 ( 4.4 )
女子 常勤	0	0	1		0	0	0	1
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	1※ ( 0.5 )	9 ( 4.5 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	10 ( 5.0 )
計 (常勤換算)	1 ( )	2 ( )	22 (15.5)		0 ( )	0 ( )	0 ( )	25 ( )
2年度中増減								
男子 常勤		+1						1
男子 非常勤 (常勤換算)			-1 (1.0)					-1 (1.0)
女子 常勤								
女子 非常勤 (常勤換算)			±1 (0.5)					±1 (0.5)
計		1 (1.0)	-1 (1.0)					0
3年度当初	1	2	21		0	0	0	24
男子 常勤	1	1	6		0	0	0	8
男子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	0 ( )	5 ( 3.1 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	5 ( 3.1 )
女子 常勤	0	0	0		0	0	0	0
女子 非常勤 (常勤換算)	0 ( )	1 (0.5)	10 ( 5.9 )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	11 (6.4)
計 (常勤換算)	1 ( )	2 ( )	21 ( )		0 ( )	0 ( )	0 ( )	24 (17.5 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定員					34	34
2年度当初 契約者数					33	33
年度内新規 契約者数					1	1
年度内 解約者数					1	1
年度末 契約者数					33	33

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数					408	408
年間 開所日数					365	365
年間 延利用者数					9.721	9721
定員に対する 利用率(%)					81%	81%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子	0	2	2	11	19	34
女子	0	0	0	0	0	0
計	0	2	2	11	19	34
構成比率 (%)	0	6%	6%	32%	56%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子	2	4	6	6	9	7	34	4.0
女子								
計	2	4	6	6	9	7	34	4.0
構成比率 (%)	6%	12%	18%	18%	26%	20%	100%	

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男 子	34	0	0	0	34
女 子					
計	34				34
構成比率 (%)	100%	0	0	0	100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	13	1	9	7	2	0	2	34
女子利用者								
計	13	1	9	7	2	0	2	34

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
ホーム職員対象の内部研修	全職員	R2.10.3	トヨタの改善を基本として、日々の業務等々の見直しを図る。

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県労働基準協会連合会	衛生推進者養成講習	7/22	1	
生活サポート千葉	強度行動障害基礎研修	10/28	1	

※新型コロナウイルスの影響で、参加者なし。

#### 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届出	備考
1	R2.7.21	勤め先にて怪我のため救急搬送。	本人に気を付けて行動するよう促した	あり	
2	R3.1.3	軽犯罪にて千葉西警察署に収監。	今後の生活を支えいく方針。	あり	
3	R3.1.4	職場の同僚から暴行を受けたと、本人から申出	職場の同僚は解雇。ご本人は通常通り勤務を継続。	あり	

令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 ［のまのまホームズ ］

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面に関して

・新型コロナウイルス感染症感染拡大を通して、グループホームでの入居者の暮らし方は大きく変化してしまいました。

#### ・休日の過ごし方

以前は移動支援や行動援護のパーソナルサービスを利用しての外出。ご自宅で過ごす。ホーム内でのんびり過ごす。というそれぞれの休日を過ごされていましたが、入居者の方の大半の週末が、ご自宅またはホーム内となり、緊急事態宣言下においてはホームで過ごすのみとなっていました。ちょっとしたホーム周辺で買い物や散歩には出掛けるものの、何か寂しい週末が続いています。

#### ・手指消毒・マスク

マスクを着用できる入居者の方にはホーム内でもお願いしていますが、負担になる方にはお願いはできません。中にはマスク着用に愛着心を持つ方もいらっしゃいます。

#### 家具・ドアノブ・取っ手・スイッチ類の消毒・換気

特に休日は何度も拭き掃除を行っています。換気については入居者の方の状況に応じて行っています。

#### ・日中活動

ご利用されている日中活動での活動もイベント的な外出も中止となり、何か生活の中の楽しみがどんどん少なくなっています。

#### ・健康管理

朝夕の検温、症状確認を実施しています。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響なのか、それとも手指消毒やマスク着用の効果なのでしょうか、流行性のインフルエンザの罹患者は0でした。

#### ・今後について～課題～

##### <入居者支援>

① 入居者の加齢に伴うご本人の状況の変化と、グループホームでの生活基盤をどこまで整えられるか？（働き方にも関連してきます。）

具体的に挙げれば、①ADLの低下②睡眠のリズムを含めた生活上の心身低下や認知・理解力の低下③免疫力の低下に伴う疾病予防。

##### <職員体制>

② より手厚くしていきたいが、現在のまのまホームズ自体は定員満床。稼動率は比較的高い。この4月の報酬改定で3年間据え置き。人件費は毎年上がります。法人事業のスケールメリットを生かした人事が不可欠だと思いますので、全体の課題としたい。

##### <職員研修>

③ 虐待・権利擁護を中心とした内部研修の充実。

##### <ヒヤリはっと>

④ 職員によって意識の差があるので、標準化（ガイドライン）の作成。

##### <職能分担表作成>

⑤ 職務職責の明確化

1.職員体制と人材確保(常勤換算数)※小数点2位四捨五入

	管理者 兼務 (とらのこ施設長)	サビ管等	支援員 ・保育士 ・世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手 等)	計
2年度当初	1	2	21				1	25
男子 常勤	0.5	1	4					5.5
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(1.0 )		( )	( )	( )	( 1.0 )
女子 常勤		1	3					4
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 7.4 )		( )	( )	( 0.9 )	(8.3 )
計 (常勤換算)	0.5 ( )	2 ( )	21 ( 8.4 )		( )	( )	(0.9 )	( 9.3 )
2年度中増減			-1					-1
男子 常勤								
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )		( )	( )	( )	( )
女子 常勤								
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 0.6 )		( )	( )	( )	( 0.6 )
計	( )	( )	( 0.6 )		( )	( )	( )	( 0.6 )
年度当初	1	2	20				1	24
男子 常勤	0.5	1	4					5.5
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	(1.0 )		( )	( )	( )	( 1.0 )
女子 常勤		1	3					4
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( 6.8 )		( )	( )	( 0.9 )	( 7.7 )
計 (常勤換算)	0.5 ( )	2 ( )	20 ( 7.8 )		( )	( )	(0.9 )	( 8.7 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員					31	31
2年度当初 契約者数					28	28
年度内新規 契約者数					3	3
年度内 解約者数					0	0
年度末 契約者数					31	31

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延契約者数					366	366
年間 開所日数					365	365
年間 延利用者数					9491	9491
定員に対する 利用率(%)					84%	84%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子		3	5	7	4	19
女子		0	1	3	8	12
計		3	6	10	12	31
構成比率 (%)		10%	19%	32%	39%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子				7	8	4	19	4.8
女子				4	5	3	12	4.9
計				11	13	7	31	4.8
構成比率 (%)				35%	42%	23%	100%	/

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子	17		2		19
女子	11		1		12
計	28		3		31
構成比率 (%)	90%		10%		100%

3. 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	10	3	2	2	1		1	19
女子利用者	6		1	3	1		1	12
計	16	3	3	5	2		2	31

## 4.職員研修について

### ア. 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容
事業所内虐待・権利擁護研修	支援職	R3.1.22(金)	職員のメンタルヘルスをテーマとしたチェックリストの実施・報告・各職場についての現況報告等。
事業所内虐待・権利擁護研修	支援職	R3.1.27(金)	職員のメンタルヘルスをテーマとしたチェックリストの実施・報告・各職場についての現況報告等。

### イ. 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加人数	備考
千葉県労働局	衛生推進者養成講習	R2.11.8	1名	

## 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届出	備考
1	R2.4.12.	脱衣室の転倒による頭部裂傷	安全な体制、更衣を行う。壁を養生する。	あり	
2	R2.8.22.	浴室での転倒時に、浴室のドア破損 (入居者にお怪我無し。)	入浴中の見守り支援について、職員間で情報共有を行いました。	なし	

令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 [ 野の花 ]

## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### ○運営面について

令和2年9月1日で6年目を迎えました。令和2年度はコロナ禍での運営、利用者さんにも我慢を強いての生活。職員も利用者さんの心に寄り添ってきましたがもうしばらく我慢の日々が続きそうです。その中で7月1日より新たに〇さんが入居し定員5名での生活が再スタートを切り現在に至ります。

### ○研修および職員の取り組みについて

令和2年度は大きな研修に参加する事ができず、参加もリモートでの参加や、YouTubeでの配信を見て業務の参考にしたり世話人さんと業務について話すようにしてきました。職員の取り組みについては、家庭的な運営ができるのがグループホームの良いところではありますが、コロナウイルス感染症がそれを許してはくれません。一緒に買い物に出かけたり自分たちでほしい物や好みの物を選ぶそう言った当たり前の日常を送る事ができないウイルスであります。利用者さんから欲しいものを聞いて職員が購入してくる事や床屋も空いている時を見計らって行くなど工夫をしながら1年間利用者支援にあたってきました。

### ○その他

ホームの中での生活がほとんどとなってしまった令和2年度。運動不足も気になる所です。なずな工房での作業を含めて体を動かす時間を確保してきましたが、成果を上げるまでには行きませんでした。今後も、運動不足を少しでも解消できるようにウォーキング等の運動を取り入れていきたいと思います。

職員の研修についても、令和3年度はもう少し参加できるようにしていきたいと思います。今しばらく、リモートでの研修が続きそうですので、決まった職員だけではなく他の職員や場合によっては世話人さんにも参加できる機会を設けていきたいと考えております。

1. 職員体制と人材確保(常勤換算数)※小数点2位四捨五入

	管理者	サビ管等	支援員 ・保育士 ・世話人等	派遣職員	看護師	調理員・ 栄養士	その他 (運転手 等)	計
2年度当初	1	1						2
男子 常勤			1					1
男子 非常勤 (常勤換算)	1 ( 0.8 )	1 (1.0 )	( )		( )	( )	( )	2 (1.8 )
女子 常勤								
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	2 ( 1.2 )		( )	( )	( )	2 (1.2 )
計 (常勤換算)	( 0.8 )	(1.0 )	( 2.2 )		( )	( )	( )	( 3.0 )
2年度中増減			-1					-1
男子 常勤								
男子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
女子 常勤								
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	-1 ( 0.8 )	( )	( )	( )	( )	-1 ( 0.8 )
計	( )	( )	-1 (0.8 )	( )	( )	( )	( )	-1 ( 0.8 )
3 年度当初								
男子 常勤								
男子 非常勤 (常勤換算)	1 (0.8 )	( )	1 ( 0.4 )		( )	( )	( )	2 ( 1.2 )
女子 常勤		1	1					2
女子 非常勤 (常勤換算)	( )	( )	3 (1.2 )		( )	( )	( )	3 ( 1.2 )
計 (常勤換算)	1 ( 0.8 )	( )	5 ( 1.6 )		( )	( )	( )	7 ( 2.4 )

\*非常勤職員、臨時職員、パート職員については常勤換算数字を( )内に別記する。

## 2. 施設等利用者の状況

### (1) 契約者数

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
定 員					5	5
2年度当初 契約者数					4	
年度内新規 契約者数					1	1
年度内 解約者数					0	
年度末 契約者数					5	

### (2) 利用率

利用事業名	入所施設	生活介護	児童発達	就労B型	グループホーム	合計
年間 延 契約者数					57	5
年間 開 所日数					365	365
年間 延 利用者数					1734	1734
定員に対する 利用率(%)					95%	95%

### (3) 利用者年齢区分（令和3年3月31日現在）

年齢区分	~19	20~29	30~39	40~49	50~	計
男子		1	2	1	1	5
女子						
計		1	2	1	1	5
構成比率(%)		20%	40%	20%	20%	100%

(4)利用者障害程度(支援)区分 (令和3年3月31日現在)

区分	区分なし 1	2	3	4	5	6	計	平均 区分
男子			1	1	3		5	4.4
女子								
計			1	1	3		5	4.4
構成比率 (%)			20%	20%	60%			

(5)援護市町村区分 (令和3年3月31日時点)

市町村区分	船橋市	東庄町・銚子市 香取市・旭市	千葉県内他	県外	計
男子		4		1	5
女子					
計		4		1	5
構成比率 (%)		80%		20%	100%

3 保護者の状況

保護者区分	親			兄弟姉妹	その他の 親族	その他	身寄り なし	計
	両親	父のみ	母のみ					
男子利用者	1		1	2	1			5
女子利用者								
計	1		1	2	1			5

#### 4. 職員研修について

##### ア、 法人および事業所内研修

研修会名	対象者	実施日	内容

##### イ、 外部団体等主催研修への参加

主催団体名	研修会名	実施日	参加 人数	備考
千葉県グループホーム 学会	千葉県 GH 大会	令和3年2月12日	1人	リモート
香取圏域 GH	GH 設置者会議	令和3年3月5日	1人	リモート

#### 5.事故の発生について \*報告事項

NO	発生年月日	事故の内容	今後の対応	行政への届出	備考
		今年度報告を要する事故 はありませんでした。			

令和 2年度

社会福祉法人さざんか会

事業報告(統一版)

事業所名 〔さざんか相談〕



## 1. 令和2年度事業活動重点事項及び成果

### 魔法のらんぷ 相談事業

#### ○運営面に関して

今年度はコロナ禍でのスタートとなりました。今年度も、昨年2月から引き続き、感染予防を考慮し、モニタリングの際には、ご自宅や事業所への訪問はできるだけ控え、基本的には電話での対応とさせていただきました。その為、モニタリングの際に事業所を訪問した際に付くモニタリング加算が取れなくなってしまったことが、減収に繋がってしまいました。

元々、この事業は単体での運営は厳しい事業です。契約数を増やすなければ増収は見込めないのですが、現状の2名(内1名は兼務)体制では、これ以上契約者数を増やすことは困難な状況にあります。今後法人全体で、この事業をどう維持していくのか検討する事が必要です。

#### ○研修および職員の取り組みについて

今年度は、新型コロナウイルスの影響で殆どの研修が中止或いはオンラインでのものになってしましました。その中で、年度末に相談支援専門員の現任研修があり、1名の相談支援専門員が参加しました。

#### ○その他

今年度は、あらゆる研修等が中止やオンラインとなったり、訪問を控える等したことで、今まで顔を合わせての会議、研修、訪問等が殆どできない状況になってしまいました。日頃、顔を合わせる、顔が見える関係作りを主にしている私たちの仕事が、機能しづらくなってしまい物足りなさや不安を感じずにはいられませんでした。契約者の方にとってもそうだったのではないかでしょうか。

しかし、今後もこのような状況は暫く続していくと思います。このような状況の中でも私達ができる事を模索しながら、契約者の方、ご家族の方の不安が少しでも軽減できるように努めていきたいと思います。



## とらのこキッズ障害児相談事業

- 契約者数 107名（令和3年3月31日現在）

### 運営面について

- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、事業所訪問が実施しにくい状況が続いており、事業所担当者及び保護者とは電話連絡が中心となっています。この状況は、今後もしばらくは続くかと思われます。また、上記に伴い新規開設事業所の情報やコミュニケーションも不足しており、保護者からのご相談に対応が難しい状況である。また、事業者においても、そもそも事業の意味理解解釈が曖昧のまま、サービス提供を行っていることが多々見られ懸念しています。
- ・保護者に至っては、電話対応が中心となることで、結果として「そもそも面談しなくても良い」と解釈され、ますます相談支援事業は「通所受給者証という切符販売」という位置付けとなってしまっています。

今後も保護者及び事業所からの電話相談が中心となります。ご家庭内でのお子さんに関するご相談があった際には、タイムリーな対応ができるように心掛けていきます。

※ 家庭児童相談室や地域の保健センターからのご相談は増えています。

